



## 置賜地域の主な観光イベント(3月)

No.	イベント名	日程	市町	概要	場所	問い合わせ
1	【おきたま雛回廊】 上杉伯爵邸	2月上旬～4月上旬 (毎週水曜休館)	米沢市	土人形、木彫り雛、紙雛、立雛、吊るし飾りなど個性豊かな創作雛の数々を展示。  雛祭りに合わせたメニューで、雛を囲みながら食事や抹茶も楽しめます。	上杉伯爵邸 (上杉記念館)	上杉伯爵邸 (上杉記念館) ☎0238-21-5121
2	【おきたま雛回廊】 東光の酒蔵	2月3日(月)～ 4月3日(木) (毎週水曜休館)	米沢市	江戸時代の享保雛を展示。東光の酒蔵では、四百二十余年の歴史を有する小嶋家で代々伝えられてきた雛人形を座敷二間に展示しています。 大正八年の米沢大火の折にも土蔵の中で無事に残った人形です。江戸中期から後期にかけて作られた享保雛や古今雛で、内裏雛と五人囃子それぞれ4組、計28体が今も変わらぬ優しく気品のある顔立ちをして、見る者の心を和ませてくれます。	酒造資料館 東光の酒蔵	酒造資料館 東光の酒蔵 ☎0238-21-6601
3	【おきたま雛回廊】 山口家	3月1日(土)～ 3月31日(月)	長井市	趣味として集めた雛人形が少しずつ増えていき、自宅隣の展示館「雛の宿」で公開。国内でも数世しかない江戸時代の名工人形師2代目原舟月(はらしゅうげつ)の古今雛や享保雛、雛祭りのルーツであり子供の幸せを祈って作られたといわれ、東北地方では珍しい這子(ほうこ)を展示しています。昔懐かしい瀬戸物の展示即売も同時開催。 ※撮影NG	山形県長井市舟場 25-34※山口製作所隣り	山口さん ☎0238-84-2830
4	【おきたま雛回廊】 結城豊太郎記念館	2月1日(土)～ 5月6日(火・祝) (毎週月曜休館 (月曜日が祝日の場合は翌日))	南陽市	「ふるさとの節句」と題し、南陽市内の各家庭で大切に伝わってきた享保雛や古今雛はじめ、五月人形など華やかな節句人形を多数展示いたします。また、それぞれの人形がもたらされた経緯や、地域産業との関わりなども詳しく紹介します。さらに、南陽市在住の作家によるひなまつりをテーマにした華やかな作品も多数展示いたします。 ○期間中特典 特設の記念撮影コーナーでの小物貸し出し 大人気のおひなさまや武将気分を味わえる多彩な小物のほか、やまがたフルーツ150周年を記念したサクラ帽もあらたに加わりました。 ※撮影NG(撮影可能エリアあり)	南陽市立結城豊太郎記念館	南陽市立結城豊太郎記念館 ☎0238-43-6802
5	【おきたま雛回廊】 「夕鶴の里ひな飾り展」	2月5日(水)～ 5月11日(日) (毎週月曜休館 (月曜日が祝日の場合は翌日))	南陽市	制作者5人が一針一針想いを込めて制作した夕鶴の里のひな飾り。 時代が変わっても大人から子どもたちへひな飾りを通して伝えたい願いや祈りは変わりません。 春の訪れを告げるひな飾り展。ぜひ見にござつとごえ。	夕鶴の里	夕鶴の里 ☎0238-47-5800
6	【おきたま雛回廊】 「つるし飾り&お雛様八段飾り&だんごの木飾り」	1月18日(土)～ 3月3日(月)	高島町	雛人形は、町内在住者より館内装飾として寄贈して頂いたもので、昭和40年代に製造販売されたものです。 つるし雛(飾り)は、町内ふれあい工房による手作りの作品。原料の多くは近隣住民より筆筒の中にしまいこんでいた「着物」を譲り受け、作られているものです。	道の駅たかはた	道の駅たかはた総合案内所 ☎0238-52-5433

No.	イベント名	日程	市町	概要	場所	問い合わせ
7	【おきたま雑回廊】 あゆ茶屋	2月上旬～3月下旬 (毎週水曜定休)	白鷹町	江戸時代 最上川の舟運で栄えた時代、多くの上方文化が舟によって持ち込まれ、その中にひな人形があり今に受継がれて来ています。また白鷹町の伝統工芸品である深山和紙で作った和紙人形も展示されています。	道の駅白鷹ヤナ公園 あゆ茶屋	道の駅白鷹ヤナ公園 あゆ茶屋 ☎0238-85-5577
8	春待ち市	3/8(土) 3/9(日)	川西町	町内外の美味しいものや可愛いものが川西町に集まる「春待ち市」。家族や友人等みんなで一日中楽しめます。 前売りチケット(抽選会付)1,800円(※当日券2,000円) 10:00～16:00	川西町フレンド リープラザ	川西町観光協会 ?0238-54-1515

問合せ先  
 置賜総合支庁観光振興室  
 (山形おきたま観光協議会)  
 高橋・渡部 TEL 0238-26-6046